週刊
こんにちは日本共産党です
ハ千代市議団ニュース
堀口明子 ☎047-767-5030
伊原　忠 ☎047-488-7207
飯川英樹 ☎080-1239-8132
日本共産党
ハ千代市議団
ホームページ
https://jcp-yachiyo.jp
日本共産党ハ千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp
第682号
2025年10月27日
発　行
日本共産党
ハ千代市議会議員団
ハ千代市大和田新田
３１２－５

過酷な夏、エアコン助成は命を守る命綱

９月議会では「エアコン設置助成制度の創設を求める請願」（ハ千代生活と健康を守る会提出）が不採択となりました。この請願趣旨は「低所得世帯や生活保護世帯の方々がエアコンを購入する際の費用に対して市独自の助成制度の創設を求める」内容です。

こうした制度はすでに流山市で行われ「低所得世帯及び生活保護世帯を対象に４万５千円を上限に助成」されています。

年々暑さが厳しくなっているのに、エアコンが購入できない世帯、壊れて使えない世帯がいまだに多く、命を落とす方もいます。なぜ購入できないか。その理由の多くが「高くて買えない」とあります。社会福祉協議会に相談して一時的に購入費用を借りることもできますが、今後の返済計画を相談している段階で諦めてしまう方もいます。だからこそ、低所得世帯や生活保護世帯の方がエアコンを購入する際に助成制度があれば、自己負担額が減ることで購入しやすくなります。

また、私たち日本共産党は電気代を気にして「エアコンがあっても使用できない」市民を目の当たりにしています。日中、ショッピングモールなどで涼んでこられる方はまだ良い方です。自宅で過ごす方は、暑くても我慢しています。「エアコンをつけると来月の電気代の支払いが怖いからつけられない。」と言います。この請願には電気代の助成も求められていました。１人でも多くの市民が安心して暮らせるハ千代市にするためにもこの請願は採択されるべきでした。

国会要請でも日本共産党は、低所得者の声を代弁

10月17日、日本共産党千葉県委員会は2026年度国政予算要望の要請行動を行い、ハ千代市議団も参加しました。

厚生労働省との交渉では、物価高騰対策などにも触れながら「国民健康保険制度」「介護保険制度」だけでなく、「生活保護制度」にも踏み込んで要請しました。「生活保護世帯に夏季加算を」「エアコン購入費用の助成を」訴えました。困っている方々の生活実態を伝え、物価高騰で食事の回数を減らしたり、電気代を気にしながらの生活している人の声を訴えてきました。

国は「２人暮らしの電気代はこの数年変動はない」だから、「夏だからといって生活が大変だという根拠はない」とあまりにも冷たい答弁でした。

お米の価格は倍になり、野菜やその他食料品も値上がりが続き、「このままでは生活ができない」との悲鳴が聞こえてきます。「怖くて電気の使用を控えている」という現状がわかっていない事が明らかな答弁でした。

日本共産党ハ千代市議団は市政だけでなく、国に対してもしっかりとみなさんの声を届けていきます。これからもみなさんの声をぜひ聞かせてください。